

## 令和元年司法試験 合格体験記

平成26年度修了（未修コース） 浦部 真奈

9期末修の浦部真奈と申します。

今回、5回目の受験でようやく合格することができました。司法試験合格までは、私ほどではないにしろ、長く苦しい道程だと思います。その間のモチベーションを維持するのは大変だと思いますが、私は一度も途中で諦めようと思ったことはありません。そのモチベーション維持の一つの例として、一般的ではないところもあるとは思いますが、参考までにお話させていただきたいと思います。

私は、岡山大学法学部卒業後、法律事務所に就職した後、岡山大学法務研究科に進学しました。法律事務所での実務経験は司法試験の勉強をする上で、知識として役に立った部分もちろんありますが、こういう仕事を自分でもしたい、という明確なビジョンを描けたことが勉強のモチベーションを上げる上で最も役立ったと思います。

また、私は本当に幸いなことに人間関係に非常に恵まれていました。私と一緒にゼミを組んで勉強してくれた友人、答案を書けば貴重な時間と労力を割いて丁寧に添削・解説してくださった先生方、いつ学校に行っても笑顔で迎えてくださった事務の方々等、私が合格すると信じて支え続けてくださった方々が岡山大学法務研究科にはたくさんいらっしゃいました。その他にもお世話になった方々を上げると限りませんが、そんな方々がいらっしゃったからこそ、その恩に報いたいという気持ちが強くなり、受験回数を重ねるごとに勉強のモチベーションは上がったような気すらします。この場を借りて、お世話になった皆様に心よりお礼申し上げます。

これから受験される皆さんも自分なりのモチベーション維持方法をみつけて頑張ってください。

最後に、法科大学院への進学を勧めてくださった宮本由美子先生には、何とお礼を申し上げてよいのか感謝の言葉も見つかりません。先生が私に教えてくださったこと、かけてくれた時間は無駄ではなかったと、私の今後の人生をかけて証明したいと思います。